

#9 祭り(2):初穂の祭り、ペンテコステの祭り、

仮庵の祭り (レビ記結晶の学び二) 2018/10/15-21

I. 初穂の祭りが表徴するのは、初穂としての復活したキリストが、彼の復活において私たちに享受を与える宴席であるということです:

レビ 23:10 「イスラエルの子たちに語って言いなさい、『あなたがたは、私があるがたに与えようとしている地に入り、その収穫物を刈り取るとき、収穫物の初穂の束を、祭司の所に持って来なければならない』」。

I コリント 15:20 ところが今や、キリストは死人の中から復活させられて、眠りについた人たちの初穂となりました。

A) キリストは過越の祭りの時に十字架につけられ、それから三日後、すなわち安息日の翌日に復活させられました:

①キリストの復活は初穂の祭りの成就であり、またその祭りの実際でもあります。

②キリストは死人の中から復活した最初の方であり、復活の初穂となりました:

a. これは、安息日の翌日、すなわち復活の日に、神にささげられた初穂の束によって予表されています。

b. 予表において、収穫物の初穂は一本の穂ではなく、一束の穂でした。これは、復活したキリストを予表するだけでなく、彼の復活の後に死の中から復活させられた聖徒たちをも予表しています。

③復活の初穂としてのキリストは、死人の中から最初に生まれた方であり、それは彼がからだのかしらとなるためでした。からだのかしらであるキリストはすでに復活させられているので、からだである私たちもまた復活させられます。

B) レビ記第 23 章 14 節の予表が表徴するのは、復活したキリストが天に昇り、彼の復活の中ですべての実を伴って神の食物として神にささげられ、まず神を満足させ、次に人の供給となって、人を満足させたということです:

①復活の日の早朝、主はひそかに昇天して御父を満足させ、そして夕方、弟子たちの所に戻って来られました。

ヨハネ 20:17 イエスは彼女に言われた、「私に触ってはいけない。私はまだ父へ昇っていないのだから。ただ、私の兄弟たちの所へ行って、『私は私の父、またあなたがたの父、私の神、またあなたがたの神へ昇る』と彼らに言いなさい」。

②彼の復活の新鮮さは、まず御父の享受のためでなければなりません。それは、予表において、収穫物の初穂がまず神にもたらされたのと同じです。

レビ 23:14 あなたがたは、神へのささげ物を持って来るその日まで、パンも炒り麦も新鮮な穂も食べてはならない。

C) 初穂の束をエホバの御前で揺り動かして、受け入れられるようにしたことが表徴するのは、キリストが復活させられて、私たちが神の御前に義とされ、神によって受け入れられたということです:

①キリストの死は神の義なる要求を履行し、完全

に満たしました。ですから、私たちは彼の死を通して、神によって義とされています。

②キリストの復活が証明しているのは、私たちのためのキリストの死が神の要求を満たしたということ、また私たちがキリストの死のゆえに神によって義とされているということ、私たちが復活した方である彼の中で神によって受け入れられているということです。

③キリストは復活した方として、私たちの中にいて、私たちのために、神によって義とされることができ常に神に受け入れられる生活を生かし出してください。

D) 初穂の祭りの初穂が神の享受のために神にささげられた後、イスラエルの民はこの初穂を食べました:

①これが表徴するのは、復活したキリストが彼の新鮮さにおいて神に献げられた後、彼の復活のすべての豊富をもって私たちの中へと分与されて、私たちの享受となるということです。

②キリストは復活の新鮮さにおいてまず御父にささげられた後はじめて、私たちの分け前となりました。

③「穂(fruit)」という言葉は、食べることを暗示しており、享受を示しています。「初穂(first fruits)」という言葉は、復活したキリストが私たちによって食べられて、私たちの享受となることを示しています。

④復活におけるキリストだけが、私たちの命の供給となることができます:

ヨハネ 14:19 もうしばらくすると、世の人はもはや私を見ない。しかし、あなたがたは私を見る。私が生きるの、あなたがたも生きるようになる。

a. 私たちの食べる分としてのキリストが何であるかのすべては、彼の復活と関係があります。

b. 初穂の祭りの予表によれば、私たちが享受しているもの、また私たちの中へと分与されつつあるものは、復活したキリストです。

ローマ 8:11 そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

II. ペンテコステの祭りは五十日目の祭りでした。五十日目とは、安息日の翌日、すなわち、揺り動かすささげ物の束が神に持って行かれた日から、第七の安息日の翌日までを数えたものです:

A) これが表徴するのは、キリストの復活の七倍の豊満が、完全な豊満の領域に到達し、復活の証しとして、完全な責任を担うということです。これは五十の数で表徴されます(五十は十かける五から成り、十は豊満を表徴し、五は責任を表徴します—16 節)。

B) 新約でペンテコステの日に、三一の神の究極の完成(手順を経た三一の神の、すべてを含む、命を与える、複合の霊、すなわち三一の神の総合計)が、キリストのからだの代表である百二十人の弟子たちの上に注ぎ出されました:

①ペンテコステの祭りが初穂の祭りの五十日後にあったことは、注ぎ出された霊が復活したキリスト

の豊富な産物の集大成であることを示しています。
ガラテヤ 3:14 それは、アブラハムの祝福が、キリスト・イエスの中で異邦人に及ぶためであり、私たちが信仰を通して、約束されたその霊を受けるためなのです。

②エコノミー上の神の霊のそのような注ぎ出しの結果、キリストのからだは、無限の、個人のキリストの拡張、拡大として生まれ、彼を宇宙的な、団体のキリスト、すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神と彼の選ばれ贖われた民のミングリングとしました。それは最終的に新エルサレムにおいて究極的に完成します。

Iコリント 12:13 なぜなら、私たちはユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、みな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされたからです。

C) ペンテコステの祭りが表徴するのは、新約の信者たちが注ぎ出された霊を、復活したキリストの豊富な産物の集大成として享受するということです。キリストの復活の豊富な産物は、神の長子、命を与える霊、神の多くの子たち、神の新創造を含んでいます。

D) 召会の産出はキリストの復活をもって始まりましたが、召会の形成はペンテコステになってはじめて生じました：

①ペンテコステの日に、実際にはキリストご自身であるその霊は、キリストの肢体たちの上に注ぎ出されました。この肢体たちは彼の復活を通して生み出されました。このようにして、召会は形成されました。

使徒 2:32 このイエスを、神は復活させました。私たちはみな、そのことの証し人です。

33 彼は神の右に引き上げられ、御父から約束された聖霊を受けて、あなたがたが見聞きしているものを、注ぎ出されたのです。

②召会の形成は、二つの部分(ユダヤ人の部分と異邦人の部分)から成っています。ペンテコステの祭りの日にパン種を入れて焼いた二つのパンから成る穀物のささげ物を神にささげたことは、召会のこれら二つの部分を予表しており、それはエルサレムの聖徒たちと(使徒第 2 章)、コルネリオの家の聖徒たち(第 10 章)によって代表されています。

III. 仮庵の祭り、最後の祭りが表徴するのは、イスラエルが千年期において復興された旧創造を完全に享受するということです。この祭りは、新天新地をもたらします：

A) この祭りは、来たるべき千年期を表徴しています。それは経綸上の、喜びに満ちた祝福であって、神の贖われた民が神と共に、神の旧創造における満ち満ちた期間にわたって享受するものです。

B) レビ記第 23 章 34 節の七日間を表徴するのは仮庵の祭りが一つの全体的な期間にわたってあるということです。この期間は千年です。

C) この予表によれば、千年期において毎日ささげ物が神に献げられます。このことが表徴するのは、私たちの経験の中で、キリストは神の食物であり、神にささげられて、神を満足させ、私たちと神が

互いに安息を享受するということです。

D) 地の産物を集め終わった後、祭りを七日間守ることが表徴するのは、神が地上で得たいものを収穫した後、千年期が来るということです：

①神は彼の永遠のご計画において、人に対して一つの目的を持っています。この目的は、一群れの人を生み出して、彼の表現とならせ、この表現が新エルサレムにおいて究極的に完成するということです。

②こういうわけで、神は四つの時代を用いて、旧創造の人に対して新創造の働きを行なっています。四つの時代とは、父祖の時代、律法の時代、召会の時代、千年王国の時代です：

a. 第四の時代、千年王国の時代には、神が最初の三つの時代に行なってきたことの満ち満ちた収穫があります。ですから、千年王国は神にとっても、彼の贖われた人にとっても祭りです。

b. 千年期において、神の贖われた人(召会とイスラエルの王国を含む)は、この祭りを享受します。

E) 仮庵の祭りは、取り入れの祭り、すなわち収穫全体がもたらされる時の祭りでした。この祭りは、キリストであるすべてに対する、豊かで、満ち満ちた、究極的な享受を表徴します：

①私たちはパン種のないパンの祭りからキリストを享受し始め、続けて初穂の祭りにおいて復活したキリストの豊富を享受し、最終的にキリストを仮庵の祭りとして究極的に享受します。

②作物を完全に収穫した後、ユダヤ人は仮庵の祭りを守って、神を礼拝し、収穫したものを享受しました：

a. 仮庵の祭りは、神が与えた良き地の収穫物を刈り取った時に持たれました。

b. 私たちにとって今日、この良き地の実際はその霊です。

ピリピ 1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。

③キリストは最終的に、すべてを含む、命を与える霊として実際化されています。私たちの経験の中でキリストの実際化としてのその霊は、良き地であり、神の満ちあふれる供給の源として、私たちに享受を与えます。

a. 仮庵の祭りは、神の民が神の御前で享受し満足するための祭りでした。

b. 神が彼の民のために定めたすべての祭りの最後の祭りとして、仮庵の祭りは神の民が良き地の収穫時の豊富な産物を享受するためであり、彼らに満足を与えました。

c. 今日、仮庵の祭りの実際としてのキリストは、このような祭りであって、私たちに経験と享受を与えます。

エペソ 3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり。

経験①:キリストが私たちの違犯のために十字架上で死に渡されたのは、神によって義とされ受け入れられたキリストの復活の命によって私たちが生きるためである

ローマ人への手紙第4章25節で、私たちは、キリストが私たちの義とされる要因であることを見ます、「イエスは私たちの違犯のために渡され、私たちが義とされるために復活させられました(ローマ4:25)」。キリストは私たちの違犯のゆえに渡され、十字架上で死なれました。…これが意味するのは、…キリストが私たちのために十字架上で渡され、神の義なる要求を完全に満たしたということです。キリストの死は神の義なる要求を履行し、完全に満たしたので、私たちは彼の死を通して神によって義とされています。

ローマ人への手紙第4章25節は続けて、神は私たちが義とされるために死人の中から彼を復活させられたと言います。もしキリストが私たちのためにささげられたことで神が満足しなかったなら、どうして神は彼を死人の中から復活させることができたのでしょうか？神がキリストを復活させたことは、私たちのためにキリストが死なれたことで神が満足しており、私たちがキリストの死のゆえに神によって義とされていることの強力な証明です。今や神はキリストを通して私たちが受け入れることができます。

中高生編

イエスはあなたの違犯のために十字架上で死に渡されました。人は信じることでこの事実を受け入れることができます。あなたは信仰によってキリストの身代わりの死のゆえに義とされることができます。あなたが義とされ得るのは、信仰によってキリストの十字架の死にあずかることによります。それは決してあなたの良い働きによってではありません。神は天的なX線のように、あなたの外側の行為だけでなく、内側の真の状態もすべて透視することができます。ですからどんな罪も神の御前で隠すことはできません。神の御前ですべての肉は罪人です。しかし主に感謝します。主の身代わりの死を信仰によって受け取る時、あなたは神の御前で義とされます。ハレルヤ！

あなたは信仰による義認について、はっきりとした認識を持ってください。あなたは自分の善い行いによって義とされることは決してできません。自分の行いによって義とされようとする人は自分に頼っている人です。そして誰も自分の行いをもって義とされ得る人はおりません。あなたが義とされるのは信仰によって、無代価に与えられます。

ローマ 3:22 すなわち神の義は、イエス・キリストの信仰を通して、信じるすべての人にもたらされました。そこには何の差別もありません。**23** なぜなら、すべての人は罪を犯したので、神の栄光に欠けており、**24** 無代価で、彼の恵みにより、キリスト・イエスにある贖いを通して、義とされるからです。

ここで一つの疑問があなたにあるかもしれませんが、「善い行いによっては神に義とされないのでは、どんな悪いことをしてもいいのではないか？」この質問に対する答えはこうです、「あなたが神の御前で義とされるのは信仰により、あなたに与えられた無代価の賜物です。信仰によって義とされることであなたは滅びから免れ

ました。さらに信仰による義認はあなたにキリストの復活の命を与えました。今、あなたはこの神に義とされ受け入れられた命を与える霊であるキリストによって生きる必要があります。この復活の命を生きることで、あなたは悪い行いをしないだけでなく、神を表現することができるので、神に喜ばれることができます」。

例えば今まであなたは自分の頑張りや欲望によって勉強に励んでいました。主を信じ義とされ、命を与える霊を受け入れたあなたは、キリストの復活の命に動機付けられて勉強に励んでください。あなたは次のように祈ることができます、「おお主イエスよ、私は今まで競争心をもって自分のために勉強していました。これはある意味で良いことです。しかし主の命を受けた私は主の証しのために、復活の命によって勉強することが神によって求められています。そのようにする時、私は勉強の中でキリストを知恵とし、忍耐力とし、暗記力として経験することができます。主に感謝します。私が主の中で主と共に主のために勉強できますように。アーメン！」

経験②:聖霊で内側と外側が満たされることで召会が産出され形成された。今日召会を建造するために私たちは聖霊で満たされる必要がある。

キリストの復活を通して私たち、キリストにある信者は、生み出されて、キリストのからだを構成する生ける肢体となりました。召会の肢体は、キリストの復活によって、キリストの復活をもって、キリストの復活の中で生み出されました。

召会の産出はキリストの復活をもって始まりましたが、召会の形成はペンテコステ、主の復活の五十日後になってはじめて生じました。ペンテコステの日に、手順を経た分与する三一の神のすべてを含む霊としての聖霊が、召会の形成のために注ぎ出されました。…復活の中で、キリストは命を与える霊と成られました。ペンテコステの日に、実際上はキリストご自身であるその霊は、キリストの肢体たちの上に注ぎ出されました。この肢体たちは彼の復活を通して生み出されました。このようにして召会は形成されました。

今やキリストにはからだがあり、このからだは彼の拡張、彼の拡大、彼の拡張、彼の広がりさえあります。今日私たちは、キリストの拡張の一部分です。あらゆる地方召会は、ペンテコステの日に存在するに至ったキリストの宇宙的な拡張の小さな一部分です。

最初の四つの祭りは一つのグループを形成し、大いなる意義を帯びています。この意義は、キリストの死、キリストの復活、キリストの昇天、手順を経た三一の神の究極的に完成された霊を注ぎ出して、キリストのからだを生み出すことを含んでいます。キリストのからだは、無限の、個人のキリストの拡大、拡張、広がりであり、宇宙的な、団体のキリストへと至ります。

在職青年編

キリストのからだである召会の産出は、キリストの復活の日をもって始まりました。召会の形成はペンテコステの日になって生じました。キリストの復活の日命の息吹きが弟子たちの中に入り、彼らは神の子供たち、キリストの兄弟たちとなりました。これが召会産出の始まりです。その後、ペンテコステの日すべてを含む霊がキリストの兄弟たちの上に注ぎ出され、召

会は形成されました。ですから召会の産出と形成は、すべてを含む霊が命として人の内側に入ることと、力として信者たちの上に注がれることによります。

ビジネス・パーソンとしてあなたは聖霊で内側と外側が満たされるべきです。内側の聖霊の満たしは命と関係があり、あなたが知恵と喜びをもって生活するようにします。外側の聖霊の満たしは力と権威と関係があり、あなたが大胆に神の言葉を語るようにします。あなたはビジネス・ライフを主にささげるべきです。あなたのビジネス・ライフが召会建造のためであれば、主は必ずあなたのビジネス・ライフを祝福します。そしてビジネス・ライフにおいてあなたは聖霊で内側と外側が満たされることを経験するでしょう。聖霊の満たしがあればあるほど、あなたは召会の産出と形成にあずかり、召会を建造することができます。

例えば、あなたがビジネス上のプライオリティ(優先順位)をつけなければならない時、あなたは主の御名を呼び、主と短い祈りをするのでキリストを知恵とすることを学んでください。人間の知恵は表面的に物事を取り扱いますが、キリストの知恵は様々な事柄を洞察し、理解力を持って判断することができます。

ネヘミヤは平民であり、王にぶどう酒を給仕する者でした。ネヘミヤは彼の職場で、上司である王に質問された時、天の神に祈って答えました。あなたも主の御名を呼び、短く主に祈ることを通して、主の知恵の中で大胆に語ることを訓練してください。そうすればあなたは主の中で有能な社員になるでしょう。

ネヘミヤ 2:1 **王アルタシャスタの第二十年、ニサンの月に、ぶどう酒が王の前に出されたとき、私はぶどう酒を取って王に差し上げた。これまで、私は彼の前で決して悲しんだことはなかった。2 王は私に言った、「あなたは病気でもないのに、なぜ悲しい顔をしているのか？ きっと何か心に悲しみがあるに違いない」。**私は大いにおびえた。3 **そして、王に言った、「王がいつまでも生きられますように！ 私の父祖の墓のある場所、その町が荒廃し、その城門が火で焼き尽くされたままであるのに、どうして悲しい顔をしないでおられるでしょうか？」。**4 **王は私に、「あなたは何を求めるのか？」と**言った。**そこで、私は天の神に祈った。**5 **そして、王に言った、「もし王が良しとされ、あなたのしもべがあなたの前で好意を得ますなら、私をユダに、私の父祖の墓のある町に遣わして、それを再建させてください」。**

さらにあなたがプライオリティを決定した後、大胆にそのことを語り、執行する必要があります。時には経営者の前でプレゼンテーションする必要があります。あなたが主の知恵の中で決定したプライオリティを、主の権威を持って大胆に語る時、あなたのプレゼンテーションがプロジェクトを前向きに前進させる大きな転換点となるでしょう。

繰り返して言いますが、このようにビジネス・ライフにおいて聖霊で内側と外側が満たされることを経験するために、あなたは自分自身を主にささげ、あなたのビジネス・ライフをささげてください。前述のネヘミヤ記 2 章 3 節のフットノートを読んでください。

FN:ネヘミヤは進取的な人であり、彼の機会をとらえて王に語りました。彼は平民、王のしもべでしたが、進取的になって自らを進んで神にささげ、エルサレムを

建造することに関する負担を負いました。彼はまた進取的になって、彼の要求を王に知らせました。彼の進取的であることは、神に大いに用いられました。

ネヘミヤは神を愛する人として、交わりの中で神に祈って神に触れました。さらに、ネヘミヤは神に信頼し、神と一にさえなりました。その結果、彼は神の代行となりました。ネヘミヤには自己追求や自己の利益はありませんでした。彼は常に進んで、自分の持っているものを、民と国家のために犠牲にしました。

予表において、ネヘミヤの進取的であることは、彼の人の行為における美德として、私たちの天然の能力、天然の才能、天然の美德が、キリストの十字架を経過し、復活の中へと、究極的に完成された三一の神としてのその霊の中へともたらされ、神のエコノミーを成就することで、神にとって有用でなければならぬことを見せています。

祈り:おお、主イエスよ。私は毎日、朝夕自分を主にささげ、献身を更新します。私の本業はキリストと召会です。私のビジネスは副業です。副業であってもそれが召会建造のためであれば、神のエコノミーの原則に従ってビジネス・ライフは祝福されます。主イエスよ、実際的な職場の生活でキリストを私の知恵と喜びとし、私の大胆さとして経験させてください。そのために毎日、すべてを含む霊、聖霊で私の内側と外側を満たしてください。私を今日のネヘミヤにしてください。主の御名の中で求めます。アーメン！

226 その霊の豊満 (英 278)

- いのちのれい、うちに入る、かわきいやす、みずのよう；れいを飲み、れいに満たされ、かわのように永遠にながれる。
- ちからのれい、うえに来る、ころものようわれらよそおう；れいのなかで、バプテスマされ、奉仕のためちから、そなえらる。
- いのちのれい、くう気のよう、いのちの実際、いぶき込む；ちからのれい、おおかぜのよう、うえよりくだって、行動させる。
- 主は復かつして、弟子らに、いのちの霊を息吹き込む；ペンテコステの日に昇天の主、かぜのようちからの霊そそぐ。
- いのちの霊、いのちあたえ、ちからの霊、いのち強化す；ちからのれい、かぜのよう吹き、新鮮なくう気来て、呼吸させる。
- ふたつ個々のれいならず、ひとつのれい、ふたつ機能；かみに満ち、かみを着せられ、かみとかんぜんに混ざり合う。
- 主よ、いのちの霊で満たし、なれのように成長させよ；そとに着せよ、ちからのれい、奉仕でながねがい満たすため。